

第2回 多文化共生フォーラム

多文化共生で外国人とともに築く 「山口の未来」

～維新から150年、さらに世界とつながる地域をめざして～

現在、日本に住む外国人住民は238万人を超え、山口県でも約1万4千人以上が暮らしています。様々な文化や国籍等を持つ人々が、互いの違いを尊重しつつ、共に活躍できる「多文化共生」の地域づくりについて考えるフォーラムを開催します。ぜひご参加ください！



平成29年 **7月2日** 日

会場 山口県セミナーパーク 講堂

山口市秋穂二島1062

定員 300名(先着順)

13:30～16:30 【開場 13:00】

第1部 基調講演 13:30～15:10

演題 女優サヘル・ローズさんが語る
「出会いこそ生きる力」～人と人との絆～

講師 サヘル・ローズ 氏

profile

1985年、イラン生まれ。幼少時代を孤児院で過ごし、8歳で養母と来日。

様々な苦難を乗り越えながら、高校時代から芸能活動を始める。声優の専門学校に通いながら東海大学でITを専攻し、卒業。日本語、ペルシャ語、ダリー語、タジキ語を話し、趣味・特技はテニスや絨毯織りと多彩。夢はイランに児童養護施設をつくること。

現在、女優、タレントとして多くの番組等に出演し、7本のレギュラーを持つ。



第2部 ①外国人住民によるパネルディスカッション 15:20～16:10

外国人住民に聞く「山口の多文化共生」いまとこれから

コーディネーター 田村 太郎 氏 (ダイバーシティ研究所代表理事)

パネリスト 上田 エカテリーナ 氏 (山口日露交流クラブ代表) ロシア出身

バブ・チチラピリー 氏 (山口国際ナショナルプログラム研究会代表) インド出身

ペルラキ・ディーネシュ 氏 (津和野町日本遺産センターコンシェルジュ) ハンガリー出身

②まとめ 16:10～16:30

グローバル社会における地域のあり方と多文化共生

講師 田村 太郎 氏 (ダイバーシティ研究所代表理事)

要約筆記
あり

**入場
無料**

託児あり
(事前予約)

■申し込み方法

電話・FAX・メール・来所のいずれかにより
山口県国際交流協会に申し込む。(申込書裏面)

■申し込み締め切り

平成29年6月24日(土) ※先着順

■お問い合わせ・お申込み先

公益財団法人 山口県国際交流協会

〒753-0082 山口市水の上町1番7号

TEL: (083)925-7353 FAX: (083)920-4144

メール: yiea.info@yiea.or.jp

URL: <http://www.yiea.or.jp/>

主催: 公益財団法人山口県国際交流協会、公益財団法人山口県ひとづくり財団

後援: 山口県、山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、防府市教育委員会、宇部市教育委員会

多文化共生とは？

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

お問い合わせ・お申込み先

公益財団法人山口県国際交流協会

〒753-0082 山口市水の上町1番7号
 TEL: (083)925-7353
 FAX: (083)920-4144
 メール: yiea.info@yiea.or.jp



■ 申込書

| | |
|---|--|
| ふりがな 代表者氏名 | |
| 住 所 | |
| 電 話 番 号 <small>※日中に連絡が取れる連絡先</small> | |
| Eメール | |
| 所 属 <small>(任意)</small> | |
| そ の 他 ふりがな 参加者氏名 | |

以下、必要な方はご記入ください。(該当の場合は□にチェックを入れてください)

託児を希望します。

| | | | |
|------------------------------------|--|-----|--|
| ふりがな 氏 名 | | 年 齢 | |
| 連絡事項 <small>(アレルギー・持病等)</small> | | | |

山口県セミナーパークへのアクセス

<公共交通機関> JR四辻駅からタクシーで約5分
 徒歩約30分(3km)

<車> 中国自動車道 小郡I.Cから約20分
 山陽自動車道 山口南I.Cから約7分



※お申し込みの際にいただいた個人情報は厳重に管理し、フォーラムの事務連絡及び今後のイベント情報の送付以外の目的で使用することはありません。